

長崎県小離島における HCV キャリアの micro-elimination を目指した取り組み

研究分担者 山崎一美 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター・臨床疫学研究室長

研究要旨

長崎県小離島（人口 2,291 人）において、全住民を対象に C 型肝炎ウイルス抗体を用いたスクリーニングを行った。1990 年から開始し受診者は実人数で 5,632 人に達しほぼ全住民のスクリーニングが行われた。このうち 80 名の C 型肝炎罹患患者を確認し、医療機関へ受領勧奨し、全例受診した。2021 年までの最終転帰について検討した。SVR に至ることなく死亡した症例は 53 例（86.9%）、その内訳は、肝疾患関連死は 18 例（34.0%）、他病死 35 例（66.0%）であった。残りの 9 例は抗ウイルス療法で SVR 達成した。HCV 抗体未受診者検索を行い、31 名を確認しえた。

研究協力者

小値賀町国民保険診療所・所長	田中敏己
長崎県上五島病院・院長	神田 聡
長崎県上五島病院・名誉院長	白濱 敏
上五島病院・検査室技師長	平瀬和廣

A. 研究目的

C 型肝炎ウイルス（HCV）感染症は、治療薬の進歩により 100% に近いウイルス駆除が見込めるようになった。Direct Acting Antiviral（DAA）は経口内服薬であり、インターフェロン（IFN）・フリーの治療法である。IFN を使用しないことから高齢者における副反応の影響が少なく、導入における障害が少ないことから、より多くの患者への治療が可能となった。これにより HCV 罹患患者の急速な減少が期待され、肝癌死亡が抑止されることが期待できる。

WHO は 2030 年までに HCV の撲滅することを目標にそのロードマップを示した。日本は、目標達成の可能性が高い国の一つと予測されている（Razavi H et al. Liver international 2020）。

我々は長崎県の離島において 1990 年から地域及び職域健診および医療機関で HCV 抗体スクリーニングを開始し、多くの C 型肝炎患者を拾い上げ長期にわたり観察、診療、治療導入を行ってきた。IFN-free 治療がはじまった 2015 年以降は、当該地域の HCV の撲滅を目指して取り組み、ほ

ぼ撲滅したと思われた。令和 3 年度は HCV 抗体スクリーニング未受診者の有無について再調査を行った。

B. 研究方法

長崎県の離島である小値賀島住民を対象とした。対象地域の人口は国勢調査において 1990 年 4,651 人、2020 年 2,291 人であった。地域健診および職域健診で 1990 年から HCV 抗体検査を毎年行った。また島内の唯一の医療機関・小値賀診療所においても初診患者および再診患者のうち HCV 抗体未検査患者を対象にスクリーニングを行った。2000 年までの受診者は 5,632 人であった。このうち HCV 抗体陽性者に受療勧奨を行い、医療機関で HCV RNA（PCR 法）を全例確認した。

未受診者の検索のために、実施体制は以下の 3 組織の協力を得た；小値賀町健康管理センター、長崎県国民健康保険連合会、長崎県後期高齢者医療連合会。それぞれの組織で 2021 年 4 月までの未受診の被保険者を検索し、受診勧奨を行った。

C. 研究結果

(1) 2021 年 4 月までの HCV 抗体スクリーニング未受診者は 256 名であった。このうち小値賀診療所受診時に検査を受けたのは 225 名であった。よって、HCV 抗体不明の身受診者は 31 名であった。

(2) 31 名の中、2021 年 12 月時点で 8 名に直

接勧奨を行うことができ、7名が受検。いずれも陰性であった。1名は今後も説明を継続してご理解をいただく。

(3) 受診勧奨において厚生労働省の受診勧奨ポスター・リーフレットを用いた。これにより受検を応じたのは7名中3名であった。

(4) 令和3年の各健診において未受診者は受診しなかった。

D. 考察

HCV抗体スクリーニングを開始した1990年の当該地区人口4,651人に対して、5,634人が肝炎ウイルス検査を受診した。受診者が人口より多い理由は、1990年以降に当該地区への転入者がいるためである。よって当該地域の住民のほとんどが受診したと想定される。未受診者がゼロであるか再確認をすることで、この研究の質が高められると考えた。小値賀町健康管理センターを中心に、各保険者の協力を頂き、再確認が可能となった。未受診者は僅か31人であった。令和3年度に全調査を予定しているが、12月時点で7名のHCV抗体陰性が確認できた。残り26人は全例トランスアミナーゼが基準値以内であった。

令和3年度中に未受診者ゼロを目標に勧奨を進めていく。

E. 結論

長崎県小離島のHCV抗体スクリーニング未受診者は26人であり受検勧奨を進めている。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

今回の研究内容について特になし